

# respon (レスポん) のご紹介

## ■ respon (レスポん) とは？

「出席・リアルタイムアンケートシステム」がバージョンアップしました。学生が専用のアプリ（iOS用・Android用）を使って提出をすることで、様々な機能が追加されます。

※従来機能の上位互換システムです 従来通りの使い方も、継続して利用できます。

## ■ 従来機能からの主な変更点：※必ずご確認ください

1. 受付番号が「7桁」から「9桁」になります。
2. 「クエスチョン」という名称が「クリッカー」に変わります。
3. 出席カード発行時に、授業で使う「予定日時」を入力するようになります。  
※この日時を厳密に守る必要はありません。  
※出席カードの有効期限は、実施予定日時から7日となります。
4. 出席カードに教員が付けるメモが、学生に対して公開されるようになります。
5. 管理画面や提出状況のグラフなど、デザイン（色）が変わります。
6. 従来の「匿名提出」が「ゲスト提出」と名称が変更になります。
7. respon専用アプリが利用可能になります。

## ■ respon専用アプリの主な機能 1：学生向け機能

respon専用アプリは、主に学生が利用するためのものです。アプリは以下の機能を提供します。

### ① 提出時間の短縮

IDとパスワードをアプリが記憶するので、起動後すぐに提出が可能。提出時間が大幅に圧縮されます。

### ② 不正のけん制

端末の位置情報サービスを使って、位置情報を送信します。そして、システムが教室から提出したか判定を行います。判定結果は教員が参照するエクセルに出力されます。

### ③ ネットワーク圏外での回答

ネットワーク圏外・あるいは電波が弱い状況でも、回答フォームを表示し、仮提出まで行えます。その後、通信可能な環境での送信ができます。

### ④ 回答の共有・相互閲覧

集計結果のグラフや、他の人の回答をアプリから参照できます（参照させるか否かは教員が設定します）。この画面を「プレイヤー」と呼びます。学生同士で相互評価も可能です。学生のプレイヤーでは、他の人の名前は表示されません。

### ⑤ 提出履歴（ログ）の確認

出席カードの提出履歴をアプリ内から参照できます。



プレイヤー画面



## イメージ動画・事例動画

respon で、どのようなことができるかは、こちらのサイトのイメージ動画・事例動画をご覧ください。

responホームページ  
<https://respon.jp/>

respon YouTube チャンネル  
[https://www.youtube.com/channel/UCBI\\_YMtB26w292x9iOH05ag](https://www.youtube.com/channel/UCBI_YMtB26w292x9iOH05ag)

## ■ respon専用アプリの主な機能 2 : 教員向け機能

respon専用アプリに、manaba の教員IDを設定した際に利用できる機能を紹介します。

### ① 出席カードの受付終了

受付中の出席カードを、アプリから受付終了にすることができます。

### ② 提出状況の確認

学生に対して配信する／しないに関わらず、教員はアプリからクリッカー/アンケートの提出状況やグラフを見ることができます。

## ■ respon専用アプリのインストール方法（主に学生に対して）

アプリのインストールと設定は、学生自身で行います。この作業は初回だけですが、時間が掛かることが想定されるため、授業時間内に行うことは推奨しません。利用開始前までに、学生自身による「事前の設定」を案内してください。また、従来通りのブラウザを使った提出も可能ですので、アプリの設定が完了していない場合はそちらの提出方法を案内してください。（ブラウザからの提出窓口は従来と同じです。）

App Storeで  
ダウンロード >

Google playで  
ダウンロード >

「respon」で検索

※iOS7 以降、Android 4.0以降に対応しています。iPad をお使いの方は、iPhoneアプリを検索して下さい。

## ■ respon 活用のヒント

### ①時間の短縮 → 複数回実施

アプリからの提出時間はブラウザからの提出に比べて短時間で済みます。結果、1授業に複数回アンケートを実施することができます。respon を利用している教員は、平均1授業に3回アンケートを実施しています。

### ②回答の共有 → 振り返りや反転授業へ

従来のシステムでは、教員がPC画面をプロジェクトで見せることで集計結果を見せていましたが、respon では学生のアプリで見せる「プレイヤー」が搭載されています。単にプロジェクトの代わりになるだけでなく、プレイヤーを「いつ読ませるか」で、様々な活用ができます。授業の最後にアンケートを実施して相互閲覧は授業終了後に（家で）行う、あるいは授業前にアンケートを提出させ、相互閲覧をした上で授業に臨ませる、など振り返りや反転授業に活用できます。

### ③スマホ世代に向けての「第三の手段」

スマホの操作に長けた学生は、驚くスピードで短時間に長文を入力できます。respon の「プレイヤー」では名前が出ないこともあり、学生はより積極的に意見を発信します。これまでの「口頭」「筆記」という手段に加えて、新たに「スマホ」という手段が増えたとお考えください。まずは1問、学生の意見を respon で聞いてみることをお試しください。



## 教員用マニュアルはこちら

「出席カード一覧」画面から、「respon教員用マニュアル」をダウンロードし、従来からの変更点について、詳細をご確認ください。

